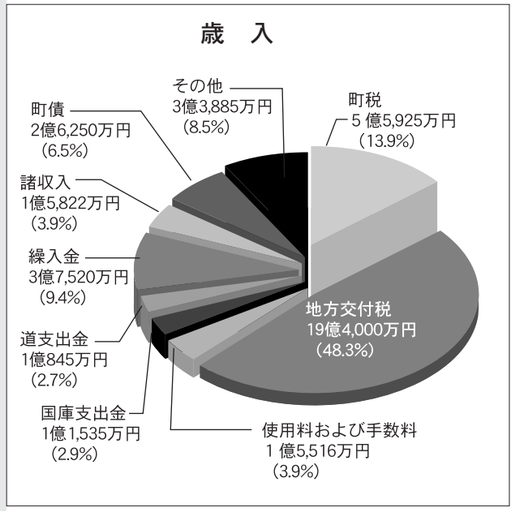
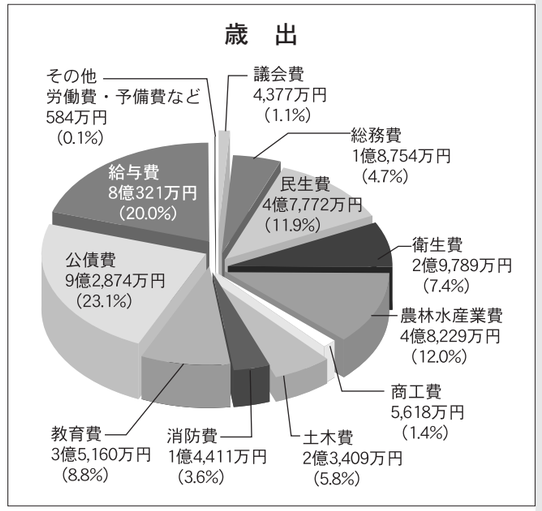
平成19年度一般会計歳入歳出の内訳（6月補正後総額40億1,298万円）





来年度整備に向けて実施設計を行う末広団地公営住宅

新規事業として行う踏切跡の傾斜を解消する交通安全対策事業（町道相内線）

主な新規および特徴的な事業

平成19年度当初予算の概要は、4月号広報でお知らせしましたので、今回は補正予算の主な内容についてお知らせします。

◆一般会計◆

総務費	ＡＥＤ（自動体外式除細動器購入事業）、町勢要覧作成事業
民生費	くんねっぷ静寿園施設改修費補助金、障がい者外出支援サービス事業 国保会計繰出金（国保電算システム改修）、障がい者福祉事務処理システム開発事業
衛生費	保健指導車更新事業、後期高齢者医療事務電算システム開発業務
農林水産業費	道営西富地区かんがい排水（紅葉川）整備事業計画樹立事業
商工費	産業観光用備品購入事業
土木費	踏切跡地交通安全対策事業（西17号・西21号・町道相内線）、南13線交通安全施設整備事業、斎藤川排水整備事業、末広団地公営住宅整備事業（実施設計）
消防費	日出消防車庫前消火栓整備事業、消防庁舎外構整備事業
教育費	訓小校舎耐震診断事業、訓中教育用コンピューター機器等更新事業、野球場整備事業 給食センター北面屋根改修事業

◆国民健康保険会計◆

総務費	国保保険者電算システム改修業務（後期高齢者医療事務関連）

平成19年度6月補正予算

新規事業など盛り込み

一般会計約1億9,300万円を追加

会計名	平成19年度 補正前予算額	平成19年度 補正予算額	平成19年度 補正後の予算額(A)	平成18年度当初予算額(B)	比較 (A)－(B)＝(C)	伸び率 (C)/(B)×100
一般会計	38億1,974万円	1億9,324万円	40億1,298万円	43億6,130万円	△3億4,832万円	△8.0%
国民健康保険会計	9億　490万円	1,649万円	9億2,139万円	7億6,860万円	1億5,279万円	19.9%
老人保健会計	8億2,080万円	2,349万円	8億4,429万円	8億4,460万円	△31万円	△0.0%
介護保険会計	4億6,080万円	0円	4億6,080万円	4億1,690万円	4,390万円	10.5%
下水道会計	2億4,180万円	0円	2億4,180万円	2億6,730万円	△2,550万円	△9.5%
合計	62億4,804万円	2億3,322万円	64億8,126万円	66億5,870万円	△1億7,744万円	△2.7%

全会計で約2億3，300万円を追加する補正予算をまとめ、6月26日開会の第2回定例町議会に提案しました。

3月の第1回定例町議会に提案しました平成19年度当初予算は、町長選挙が行われるため新たに取り組む事業や政策的な予算を除いた骨格予算として編成されていました。

6月補正は、厳しい財政状況の中で各種補助などを継続するほか、新たにＡＥＤ（自動体外式除細動器）購入事業や障がい者外出支援サービス事業などを実施します。

安心のまちづくり推進へ ＡＥＤ（自動体外式除細動器）を配備

補正後の各会計予算は上の表のとおりで、全会計合わせ64億8，126万円。18年度当初予算と比べ2・7％の減、このうち一般会計は、1億9，324万円を追加補正し40億1，298万円となり、8％の減となっています。

一般会計歳入では、厳しい財政状況から、今回の補正でも財政調整基金から7，707万円を繰り入れて編成しました。

新規を含めた主な事業は、3ページの一覧にありますが、救急救命率の向上をめざし、ＡＥＤ7台を公共施設に配備（232万円）するほか、ふるさと銀河線の廃止に伴い、踏切跡地3か所の傾斜をなくし見通しを良くする交通安全対策事業（4，000万円）や車いす利用の方に対し、町有車で町内移動を手助けする「障がい者外出支援サービス事業」などを実施します。

今年度、公共施設に配備されるＡＥＤ